



品番	配光タイプ	LED色	適合部品 (別売)
PA(H)81001UPWP/M/40	コンフォート ウォッシュ (中角レンズ仕様)	白色 4000K Ra83	適合直流電源ユニット PA(H)00007PS(非調光型) PA(H)00008PWM(調光可能型)
PA(H)81001UPWP/M/35		温白色3500K Ra83	
PA(H)81001UPWP/M/30		電球色3000K Ra83	
PA(H)81001UPWP/M/27		電球色2700K Ra83	
PA(H)81002UPWP/VW/40	ラグジュアリー アンビエンス (導光パネル仕様)	白色 4000K Ra83	適合埋込ボックス PA(H)81005 (連結金具付 (補修部品品名: PA81006))
PA(H)81002UPWP/VW/35		温白色3500K Ra83	
PA(H)81002UPWP/VW/30		電球色3000K Ra83	
PA(H)81002UPWP/VW/27		電球色2700K Ra83	

※上記()内は加工品番です。(以降、加工品番の記載を省略します。)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると、浸水による火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しない。火災・感電・浸水の原因となります。
- 表示された電源電圧 (定格電圧±6%) ・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- この器具は屋外用器具です。ただし冠水の恐れのある場所、くぼ地等の水の溜まる場所、腐食性ガスの発生する場所、塩害を受ける場所、振動の強い場所では使用しない。浸水による火災・感電・不点の原因となります。
- 地中 (コンクリート、モルタル) 埋込型専用器具です。土中及び壁面、天井面では使用しない。
器具落下及び破損の原因となります。
- 壁際の床面設置専用です。車輛の通行する場所や絶えず荷重がかかる場所、壁がなく単独設置となる場所には使用しない。器具破損及び浸水による火災・感電・不点の原因となります。
- 必ず排水処理工事を行う。浸水による火災・感電・不点の原因となります。
- 器具の上にダンボール類や紙、布類を被せない。不点及び器具寿命低下の原因となります。
- 草や木で器具が覆われる場所では使用しない。不点及び器具寿命低下の原因となります。
- 必ず適合部品と合わせて使用する。火災・感電・不点の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁・防水処理 (融着テーピング等) は、確実にこなう。感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続 (ねじり接続等) はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。

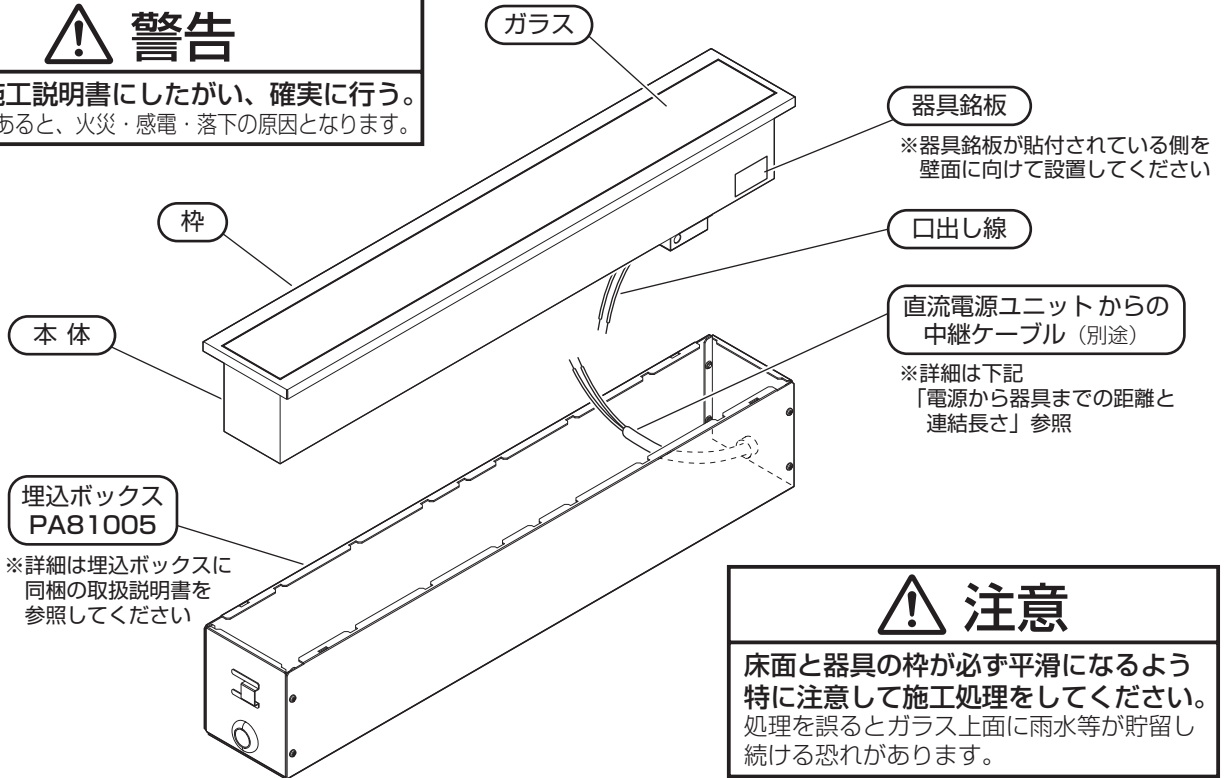
⚠ 注意

- 周囲温度は、-10~35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、火災や短寿命の原因となります。
- 施工時の一時的な点灯確認以外は日中点灯しないでください。火災や短寿命の原因となります。
- 器具に過度な力を加えないでください。浸水及び器具破損による火災・感電・不点の原因となります。
- 床面と器具の枠が必ず平滑になるよう特に注意して施工処理をしてください。
処理を誤るとガラス上面に雨水等が貯留し続ける恐れがあります。
- 非調光型の直流電源ユニットに接続する場合、調光器と組み合わせた使用はできません。
調光器と組み合わせた場合、チラツキが発生し、器具の消灯ができません。
- 器具の取付け取外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。

各部のなまえと取付方法

警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

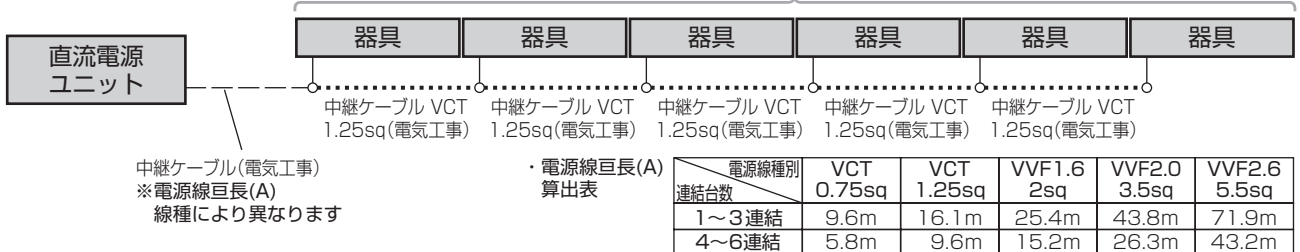


電源から器具までの距離と連結長さ

- 直流電源ユニットと器具の中継ケーブル (別途ご準備ください)
- 器具間の送り用中継ケーブル (別途ご準備ください)
推奨電線：VCT 1.25sq (2芯線)

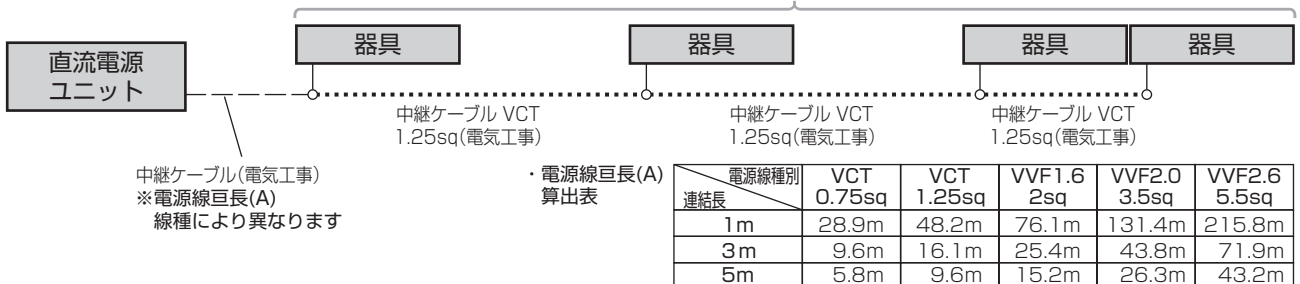
◇器具を連結施工する場合

連結台数：最大6台連結まで



◇器具間を離して施工する場合

連結長：最大5mまで



1 取付前の確認

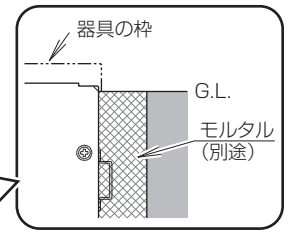
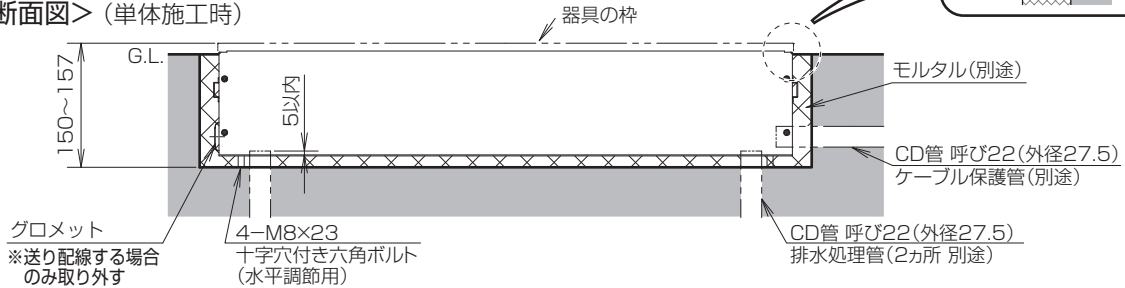
- ・使用条件に十分耐えるよう、施工部の強度を確保してください。
器具質量：約5.7kg
埋込ボックス質量：約3.8kg
不備があると、器具破損及び浸水による火災・感電・不点の原因となります。
- ・専用埋込ボックス PA81005 (別売) を設置する際は、必ず排水処理を行ってください。
不備があると、冠水による火災・感電・不点の原因となります。

各部のなまえと取付方法 (続き)

2 埋込ボックスを設置する

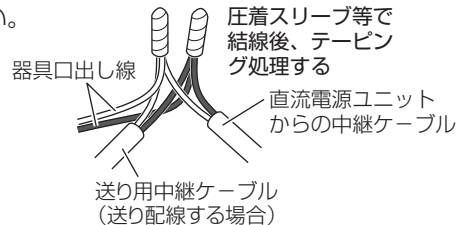
- 必ず専用埋込ボックス PA81005 (別売) を使用してください。
専用埋込ボックスに同梱の取扱説明書を参照し、専用埋込ボックスを設置してください。
不備があると、冠水による火災・感電・不点の原因となります。
- 必ず適合直流電源ユニット (別売) と組合せて使用してください。
直流電源ユニットからの中継ケーブルを埋込ボックス内に引込んでください。

＜横断面図＞ (単体施工時)

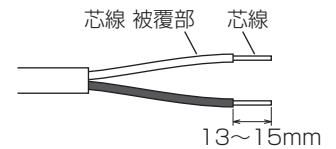


3 電源線を接続する

- 器具口出し線及び直流電源ユニットからの中継ケーブルの先端処理をしてください。(右図参照)
送り配線する場合は送り用中継ケーブルも同様に加工してください。
- 器具口出し線に中継ケーブルを接続してください。
- 接続部の絶縁、防水処理 (融着テーピング等) を確実に行ってください。
- 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- 口出し線の線種：ポリエチレン絶縁電線
口出し線の線径：1.25mm²



器具口出し線と中継ケーブルの先端を
13~15mm剥き加工する

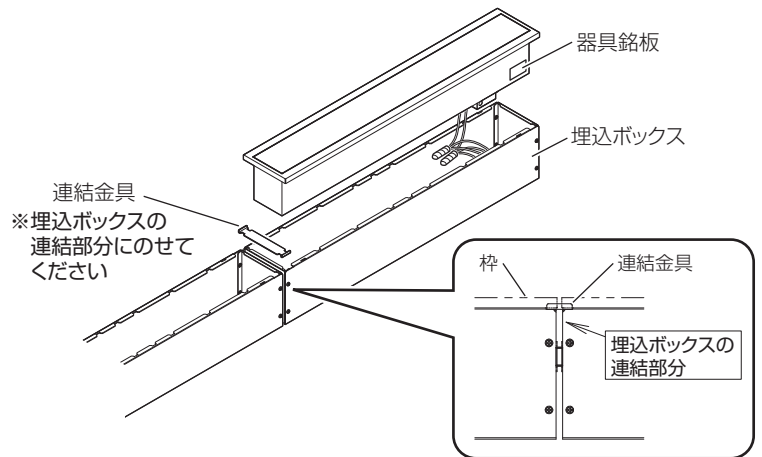


警告

接続、保護が不完全な場合、
感電・火災の原因となります。

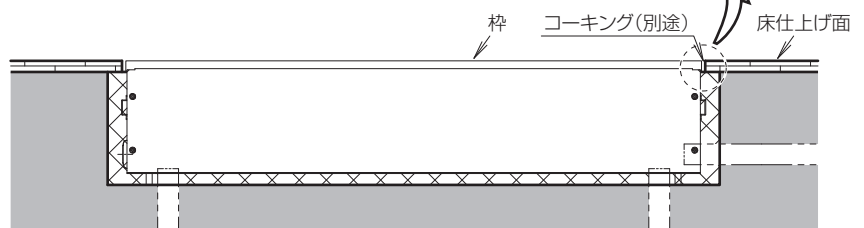
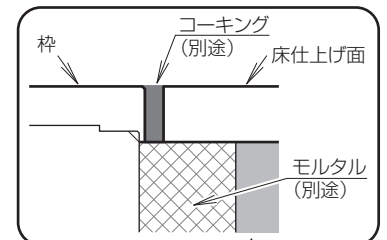
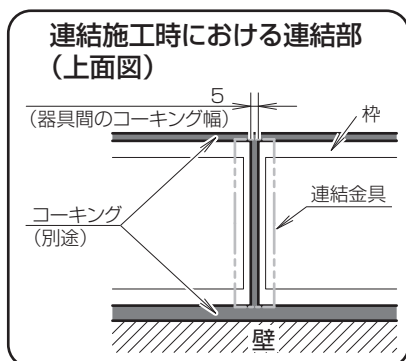
4 本体を埋込ボックスに収納する

- 3で処理した器具口出し線とケーブルを、埋込ボックス内に収納してください。
- 器具銘板が貼付されている側を壁面に向け、本体を埋込ボックスに収納してください。
先に収納した器具口出し線とケーブルを本体で踏まないよう特に注意してください。
不備があると、浸水及び絶縁不良による火災・感電・不点の原因となります。
- 連結施工する場合、連結金具 (埋込ボックス付属品) を使用してください。



5 枠と床仕上げ面との防水処理を行う

- 枠と床仕上げ面とのすき間をコーキングし、防水処理を施してください。
不備があると、浸水及び絶縁不良による火災・感電・不点の原因となります。



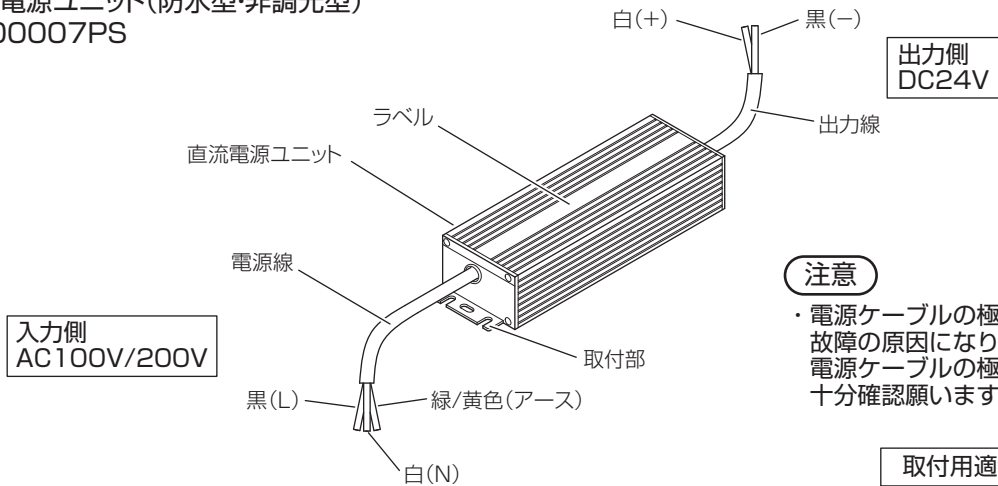
直流電源ユニットの施工方法

(注) PA00007PS(非調光型)の施工方法について説明しています。

PA00008PWM(調光可能型)の施工方法は、PA00008PWMに添付の取扱説明書をご覧ください。

各部のなまえ

適合電源ユニット(防水型・非調光型)
PA00007PS



注意

- ・電源ケーブルの極性を間違えると故障の原因になります。電源ケーブルの極性に間違いがないか十分確認願います。

取付用適合ねじ	呼び4
---------	-----

警告

- 断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しないでください。

火災の原因となります。

- 住宅の断熱施工天井には使用できません。



- 接地工事(D種接地工事)を確実に行ってください。

接地に不備があると感電の原因となります。

- 電源線、出力線、アース線の接続はスリーブ等で結線後、シースの無い接続箇所からシースの部分まで全体を自己融着テープ処理して絶縁テープで仕上げ、確実に防水処理を行なって下さい。

接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

- 電源線、出力線、アース線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、及び同解釈第12条に従って下さい。

- 施工は、取扱説明書に従い確実に行ってください。

施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。

- 天井への取付けはしないでください。

落下の原因となります。



- 直流電源ユニットを並置する場合は、相互に熱影響を受けますので、十分間隔(5cm以上)をあけてください。

また、箱の中に収納する場合は容積をできるだけ大きくしてください。周囲20mmの空間が必要。

- 複数の直流電源ユニットの出力側を並列又は直列にして使用しないでください。

火災の原因となります。

- 直流電源ユニットの改造は絶対に行わないでください。

火災・感電・落下の原因となります。

- 必ず専用の器具と組合せてください。火災・感電の原因となります。

- 表示された電源電圧(定格電圧 $\pm 6\%$)・周波数で使用してください。

指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電の原因となります。

- 直流電源ユニットは、横転・逆転しないように設置してください。

設置が不完全な場合、火災の原因となります。

- 電源電線の接続は確実に行って下さい。

接続の不備があると、感電・火災の原因となります。

- 単線とより線の直接接続(ねじり接続等)、専用工具以外での圧着は絶対にしないでください。

接続不良となり、感電の原因となります。

施工方法



警告

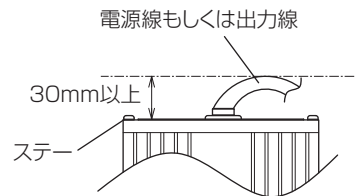
●施工は、下記に注意して行う。 施工に不備があると、火災・感電・故障の原因となります。

1 取付前の確認をする

- ・電源質量（1.2kg）に十分耐えられるよう、取付ねじ、取付部の強度を確保してください。（取付ねじ呼び4を使用する。）
不備があると落下の原因となります。

2 横転・逆転しないように設置する

- ・垂直に取り付ける際は、電源線が上を向かないように取り付けてください。取付部の形状は、出力線が上側になるようにしております。
- ・高所への取付時は安全のため、落下防止ワイヤー等（別途）の落下防止対策を施してください。
ワイヤー径φ1.0以上、たるみ40mm以下。対策を施さない場合、落下の原因となります。
- ・設置時に電源線、出力線の湾曲部頂点からステーまでの距離が30mm以上となるようにしてください。防水性能が損なわれます。
- ・設置が不完全な場合、火災・感電・故障の原因となります。



3 電源線、アース線を接続する

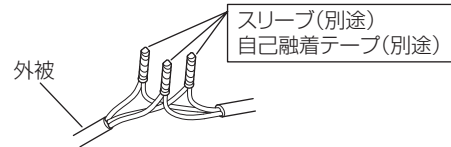
- ・ラベルに表示の結線図に従い、電源線、アース線を接続する。
- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条に従うこと。
- ・口出し線の接続は、スリーブ等により確実にを行い、シースの無い接続箇所からシースの部分まで全体を自己融着テープで巻いてから絶縁テープ等で処理し、十分に絶縁、防水対策を行うこと。
- ・電源側アースの接地は必ず行ってください。
- ・不備がある場合、火災・感電・浸水・故障の原因となります。

4 出力線を接続する

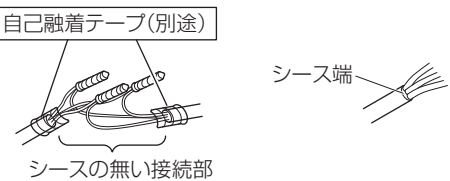
- ・直流電源ユニットに通電した状態で接続しないでください。感電の原因となります。
- ・器具に接続される極性（+、-、アース）にご注意ください。極性間違いの場合、火災・感電・故障の原因となります。
- ・器具を含む配線長は **電源から器具までの距離と連結長さ**（2ページ）の図表にしたがってください。
発煙発火の原因となります。
- ・口出し線の接続は、スリーブ等により確実にを行い、シースの無い接続箇所からシースの部分まで全体を自己融着テープで巻いてから絶縁テープ等で処理し、十分に絶縁、防水対策を行うこと。
- ・不備がある場合、火災・感電・浸水・故障の原因となります。

電線の接続方法

①スリーブ等により接続後、自己融着テープを巻く



②ケーブルシースのすきまから水の浸入を防ぐため、口出し線のシース端を自己融着テープで巻く



③自己融着テープの上に絶縁テープを巻く



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。火災・感電・浸水の原因となります。
- ガラスは衝撃が加わると破損する恐れがあります。かけやひび割れの発生しているガラスは使用しない。
- 器具の上にダンボール類や紙、布類を被せない。不点及び器具寿命低下の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下による破損の原因となります。

⚠ 注意

- 定期的に清掃を行ない、器具が枯葉・ゴミ等で覆われないようにしてください。不点及び器具寿命低下の原因となります。
- お手入れの際には、必ず電源を切り、器具が十分に冷えてから行なってください。感電・やけどの原因となります。
- ガラスの清掃に高圧洗浄機や、デッキブラシなどの硬いブラシを使用しないでください。水圧による器具内への浸水や枠の表面処理部分が損傷し、器具破損の原因となります。
- ガラス、枠表面に鋭利なものや石などを押し付けしないでください。表面処理部分が損傷し、器具破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年^(※1)経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - ・LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
 - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
 - ・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■LED照明器具の光源寿命^(※2)は40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります)

※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

- ・LEDにはバラツキがあるため、LEDユニット内のLED、および同一品番及びシリーズ品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・外気温の低下により、ガラス内面が白く曇ることがありますが、点灯することで解消されます。
- ・本器具は光源交換や内部清掃など分解することはできません。器具交換の際は現場で施工した器具周囲のコーキングを剥がす必要があります。
- ・短寿命の原因となりますので、直射日光の当たる状態で点灯しないでください。
- ・照射面によっては光ムラや光源イメージの映り込みが気になる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・合わせガラスや器具内に微小なチリやホコリが稀に残留する場合がありますが、品質・性能には影響ありませんのであらかじめご了承ください。

保証について

- ・保証について……この商品の保証期間は1年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について……保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

お手入れについて

- ・器具の清掃について……水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

●定格

定格電圧	入力電流	入力電力
DC24 V	0.6 A	14.4 W

パナソニック株式会社 ライティング事業部 ☎571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月～土 / 9:00～18:00(祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX) [Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787 Open: 9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)]